

リモコンマイク

取扱説明書 工事説明付き

品番 WR-205, 210

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

もくじ

特長	2
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	3
使用上のお願い	4
<hr/>	
各部の名前と働き	5
操作部	5
後面	5
リモコンマイクからの放送	6
個別放送をする場合	6
一斉放送をする場合	6
<hr/>	
工事の前に	8
音声調整卓への接続のしかた	12
AVステーションへの接続のしかた	22
ラック形音響装置への接続のしかた	23
壁掛形アンプシステムへの接続のしかた	24
ハイパワーアンプへの接続のしかた	25
非常用放送設備、 業務放送システムへの接続のしかた	26
優先順位の設定	28
音量の調節	30
故障と思われましたら	30
<hr/>	
仕様	31
保証とアフターサービス (よくお読みください) ...	裏表紙

はじめに

操作のしかた

工事説明

仕様

このたびは、リモコンマイクをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

- 本機を各種音響装置に接続することによって離れた場所から系統別放送や一斉放送を行うことができます。
- 壁掛型非常放送設備またはラック形非常放送設備業務システムに接続して使用できます。
- 5局用のWR-205と10局用のWR-210があります。
- DC 24 V専用ユニットです。
- 録音出力および優先機能を有しております。

特長

- 本機は、卓上型です。別売りのマルチリモコンマイク取付金具（WR-Q300）を使用すれば、壁に掛けて使用することができます。
- 本機の録音出力をICレコーダ等に接続すれば、マイクから音声などの簡易録音を行うことが可能です。
- マイクスイッチ、ラインスイッチで、音声入力を「入/切」できます。
- コールサイン（上り/下り）スイッチでコールサインを放送することができます（本機をラック形非常用放送設備または壁掛形非常用放送設備に接続した場合）。
- 個別優先機能があります。リモコンマイクの使用状況は、使用中表示、放送中表示で確認することができます。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）.....	1
保証書.....	1
束線バンド.....	1
風防.....	1

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- ただちに、電源制御ユニットまたは分電盤の電源を切り、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用を止める



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに、電源制御ユニットまたは分電盤の電源を切り、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下などでけがの原因となります。

使用上のお願い

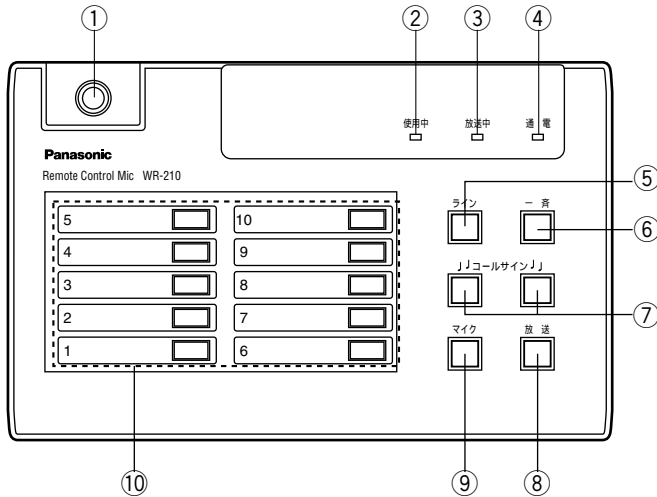
- 本機の優先順位は、本機を接続する音響装置側で設定してください。
一般的に、放送の優先順位は次のようになっています（非常放送システムの場合）。
 1. 非常放送
 2. 緊急放送
 3. 業務放送（リモコンマイク等からの放送）なお、設定のしかたは、本機を接続する音響装置側の取扱説明書（工事説明書）をお読みください。
- 放送スイッチ、一斉スイッチを押してから1秒以上間をおいてから放送してください（音響装置によっては、動作するまでに数秒かかるものがあります）。
- 表示について
本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をご覧ください。
- お手入れのしかた
ケースが汚れたら、薄めた台所用洗剤を布にしみこませ、よくしぼり、軽くふいてください。その後、乾いた柔らかい布でふいてください。
 - 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
 - シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。

お願い

操作部にふれると、放送が開始されることがあります。お手入れをするときは操作部にふれないようにするか、適切な状況の下でのみ行ってください。

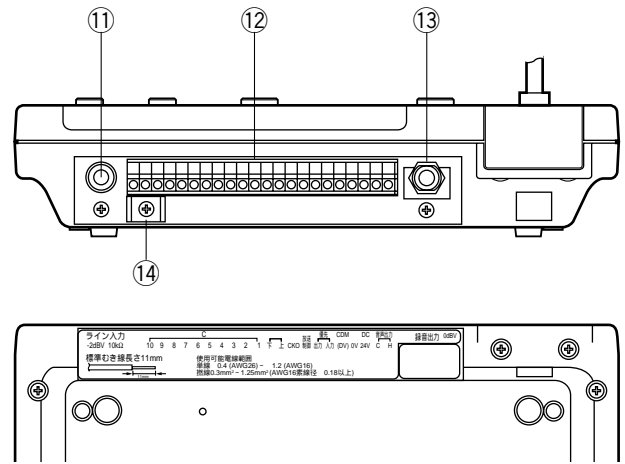
各部の名前と働き

操作部



- ①フレキシブルマイク
マイクの方角を変えることができます。
- ②使用中表示
他のリモコンが放送しているときに点灯します（優先接続の場合）。ただし、個別優先設定の接続時は優先順位が低いリモコンマイクより放送しているとき、高いリモコンマイクの使用中表示は点灯しません。
- ③放送中表示
本機から放送しているときに点灯します。
- ④通電表示
本機にDC 24 Vが通電されると点灯します。
- ⑤ラインスイッチ
ライン入力に接続した機器の音声を放送するとき押します。
- ⑥一斉スイッチ
本機から全ブロックに一斉放送をするときに押します。一斉放送をする場合、放送スイッチを押さずに放送することができます。
- ⑦コールサイン上り \uparrow / 下り \downarrow スイッチ
本機を接続した機器（非常放送設備または業務放送設備）のコールサインを鳴らします。
注意：コールサイン上り / 下りスイッチを両方向同時に押さないでください。同時に押すと、一斉放送状態になります。

後面

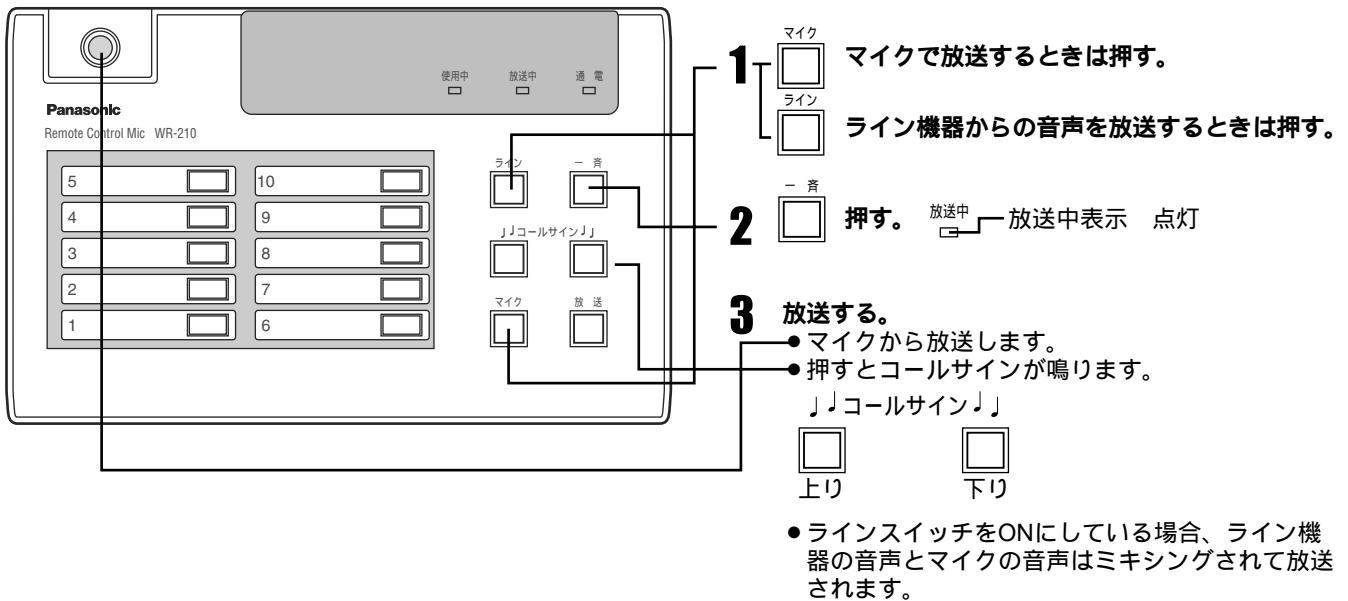


- ⑧放送スイッチ
本機から放送するときに押します。再度押すと、放送を終了します。
- ⑨マイクスイッチ
フレキシブルマイクから放送するときに押します。
- ⑩個別スイッチ
特定のブロックにのみ放送するときに押します。WR-205の場合は、6～10のスイッチはありません。
- ⑪ライン入力（-2dBV 10k 不平衡）
ライン機器の音声出力を接続します。
- ⑫接続端子台
非常用放送設備（ラック形、壁掛形）または業務放送システムなどに接続します。
- ⑬録音出力（0dBV 10k 不平衡）
本機のマイクによる音声またはラインからの音声を録音する場合に使用します。
- ⑭ケーブルクランプ
接続ケーブルを束線バンド（付属品）で固定するときに使います。

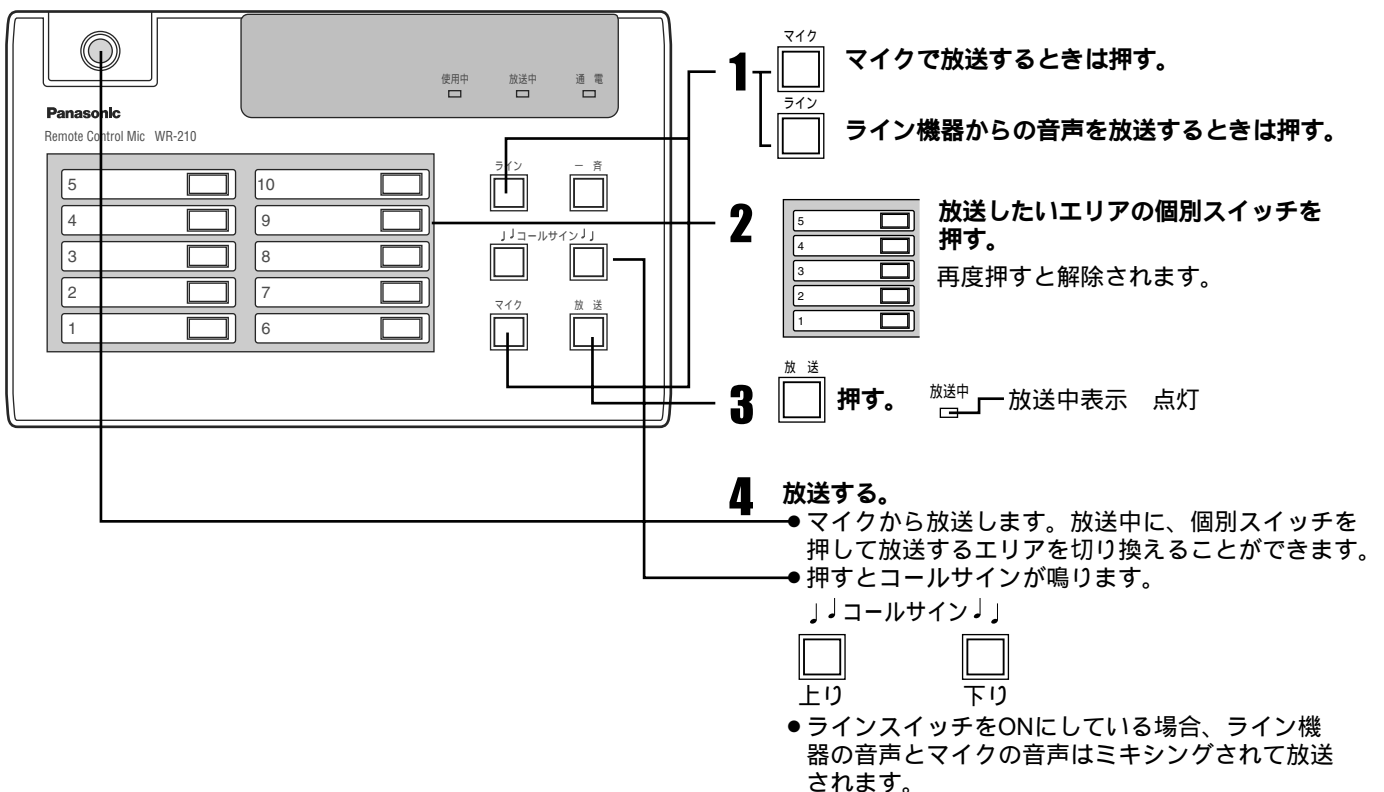
リモコンマイクからの放送

- 付属の記名シートに個別スイッチの放送先を記入します。
- 使用中表示が点灯しているときは、本機から放送できません。他のリモコンマイクから放送中です。(優先接続の場合)

一斉放送をする場合



個別放送をする場合



工事説明

⚠ 注意

工事は必ず販売店に依頼してください。工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを必ず「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、「安全上のご注意」をよく読んで、その指示に従ってください。
接続する機器の取扱説明書も合わせてお読みください。

工事の前に

工事の前に	8
システム構成表	8
配線距離と線経	9
本機を壁に取付ける場合	10
リレーボックスの収納について	11
回線リレーの追加	11
リレー用電源装置について	11
端子盤への接続のしかた	11

接続のしかた

音声調整卓への接続のしかた	12
系統別にリモコン放送するための準備 （VUメータを振れるようにする）	12
基板の取付け位置	12
WL-610/615に接続する場合	12
WL-720/725,850/855に接続する場合	13
WL-610/615,720/725,または850/855に接続する （各チャンネル10系統＋一斉をリモコン放送 する場合）.....	14
WL-720/725,またはWL-850/855に接続する （チャンネル別一斉と全チャンネル一斉に リモコン放送する場合）.....	16
WL-720/725 または WL-850/855 に接続する （リモコンマイク1台で系統別に放送する場合）.....	17
WL-720/725またはWL-850/855に接続する （リモコンマイク1台で系統別に放送する場合）.....	18
WL-610/615（30局）に接続する （リモコンマイク1台で系統別に放送する場合）.....	20
AVステーションへの接続のしかた	22
ラック形音響装置への接続のしかた	23
壁掛形アンプシステムへの接続のしかた	24
ハイパワーアンプへの接続のしかた	25
非常用放送設備、業務放送システムへの 接続のしかた	26
WK-770B、775B、780Bに接続する	26
WL-7550A、7050A、WL-K500に接続する	26
デジタルICレコーダーに接続する	27
優先順位の設定	28
個別優先	28
優先順位設定をしない場合	29
音量の調節	30

工事の前に

システム構成表

システムの組合せにより、次のような機器が必要です。リレー、線材は別途ご用意ください。

リレーは松下電工株式製のAP3222KまたはAP322244Kをお使いください。

組み合わせ			リモコンマイク (5局) WR-205	リモコンマイク (10局) WR-210
品名	品番			
呼び出しアンブ	WA-250, WA-260		・接続できません	・接続できません
卓上アンブ	WA-830A, WA-H30 WA-835A, WA-H60 WA-840A, WA-H120 WA-845A, WA-850A WA-855A		・リレーボックス (WR-905) × 1台必要 ・ジャンパの差し替え有 ・リレー (別売)	・リレーボックス (WR-905、WR-906) × 1台必要 ・ジャンパの差し替え有 ・リレー (別売)
カセット付卓上アンブ	WA-760, WA-765		・リレーボックス (WR-905) × 1台必要 ・ジャンパの差し替え有 ・リレー (別売)	・リレーボックス (WR-905、WR-906) × 1台必要 ・ジャンパの差し替え有 ・リレー (別売)
ワイドフレックスアンブ	WA-28		・接続できません	・接続できません
壁掛けアンブシステムタイプ	WA-880, WA-885		・リレーボックス (WR-905) × 1台必要 ・ジャンパの差し替え有 ・リレー (別売)	・リレーボックス (WR-905、WR-906) × 1台必要 ・ジャンパの差し替え有 ・リレー (別売)
壁掛けアンブスタンダードタイプ	WA-890, WA-895		・接続できません	・接続できません
卓上アンブ	WA-910, WA-915 WA-920, WA-925 WA-930, WA-950		・接続できません	・接続できません
ラック形アンブ	WL-7100, WL-7600		・直接接続可能	・直接接続可能
ラック防災	WL-7000/7500 WL-7050/7550 WL-7050A/7550A		・直接接続可能	・直接接続可能
壁掛	一斉式	WK-705	・接続できません	・接続できません
	手動式	WK-715, WK-720A	・接続できません	・接続できません
	連動式	WK-250	・直接接続可能	・直接接続可能
WK-730A/740A/750A WK-770/775/780 WK-770A/775A/780A WK-770B/775B/780B				
音声調整卓	1系統	WL-610/615 (最大10局)	・10局リレーユニット (WU-R86) × 1台必要 ・リレー (別売)	・10局リレーユニット (WU-R86) × 1台必要 ・リレー (別売)
	2系統	WL-720/725 (最大20局)	・10局リレーユニット (WU-R86) × 2台まで接続可能 ・WU-R86が2~3台の時は、リレー用電源ユニット (WU-Z85 × 1) が必要 ・リレー (別売)	・10局リレーユニット (WU-R86) × 2台まで接続可能 ・WU-R86が2~3台の時は、リレー用電源ユニット (WU-Z85 × 1) が必要 ・リレー (別売)
	3系統	WL-850/855 (最大30局)	・10局リレーユニット (WU-R86) × 3台まで接続可能 ・WU-R86が2~3台の時は、リレー用電源ユニット (WU-Z85 × 1) が必要 ・リレー (別売)	・10局リレーユニット (WU-R86) × 3台まで接続可能 ・WU-R86が2~3台の時は、リレー用電源ユニット (WU-Z85 × 1) が必要 ・リレー (別売)
AV調整卓		WL-3700C	・10局リレーユニット (WU-R86) × 1台が必要 ・リレー (別売)	・10局リレーユニット (WU-R86) × 1台が必要 ・リレー (別売)
		WL-3800C	・10局リレーユニット (WU-R86) × 3台まで接続可能 ・WU-R86が2~3台の時は、リレー用電源ユニット (WU-Z85 × 1) が必要 ・リレー (別売)	・10局リレーユニット (WU-R86) × 3台まで接続可能 ・WU-R86が2~3台の時は、リレー用電源ユニット (WU-Z85 × 1) が必要 ・リレー (別売)
		WL-AV110A WL-AV120 WL-AV200A WL-AV190	・10局分は本体内蔵、直接接続可能 ・WU-R72 (一般30局、非常30局) 1台追加可能 ・WU-R73 (一般10局、非常10局) 6台まで接続可能 ・リレー用電源ユニット (WU-Z85) はリレーユニット × 1/2台の目安が必要 ・リレー (別売) は局数 × 1/2個の目安が必要	・10局分は本体内蔵、直接接続可能 ・WU-R72 (一般30局、非常30局) 1台追加可能 ・WU-R73 (一般10局、非常10局) 6台まで接続可能 ・リレー用電源ユニット (WU-Z85) はリレーユニット × 1/2台の目安が必要 ・リレー (別売) は局数 × 1/2個の目安が必要

(注) 接続の仕方は、各組み合わせの機器側の工事説明書も参照願います。

配線距離と線径

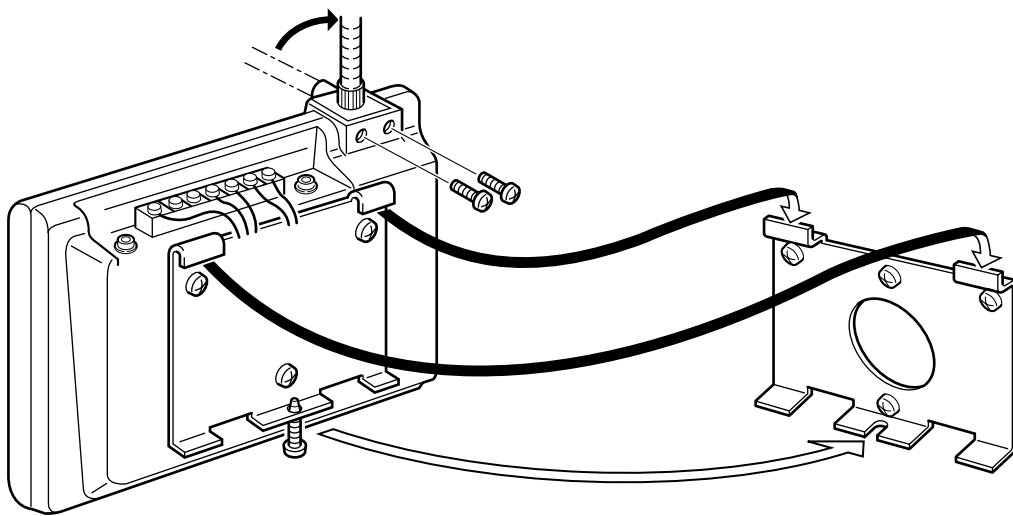
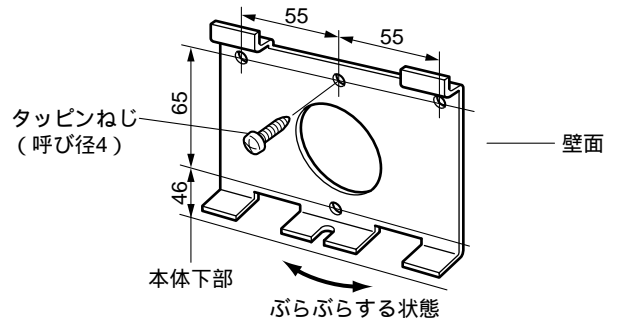
線材 \ 距離	50 m以下	200 m以下	500 m以下
シールド線	φ0.4 ~ φ0.5 mm (AWG26 ~ 24)	φ0.5 mm (AWG24)	φ0.5 mm (AWG24)
制御線	AWG24 ~ 22番線 または φ0.5 ~ φ1.0 mm	φ0.8 ~ φ1.2 mm	φ1.2 mm

- 上記の表以外の線材を使用する場合は、1線の線路抵抗が15 Ω以下のものを使用してください。
- リモコンマイクを移動して使用する場合は、より線を使用し、中継してください。
- 接続に使用するケーブルの先端は、下記のように処理してください。
標準むき長：11mm
- 使用可能な電線はつぎのとおりです
単線 φ0.4mm (AWG26) ~ φ1.2mm (AWG16)
より線 0.3mm² (AWG22) ~ 1.25mm² (AWG16) 素線径φ0.18mm以上

本機を壁に取り付ける場合

本機を壁に取り付ける場合、別途取付金具（WR-Q300：部売品）をご用意ください。

- ①取付金具（別売品）の方向を確認します。
（3つ穴のある方が上になります。）
- ②3つ穴の中央の穴にタッピンねじを取り付けます。
（取付金具が左右に動く状態に仮りとめしてください。）
- ③水平方向の傾きがないことを確認して、残りの3箇所の位置決めをし、タッピンねじで固定します。
- ④本機底面に取付金具を取り付けます。
取付金具に付属されているタッピンねじで固定します。
- ⑤フレキシブルマイク取り付け台のねじ2本をはずしてフレキシブルマイクの向きをかえます。



- ⑥壁につけた取付金具に本機をはめ込み、下から固定ねじ（付属）で固定します。
このとき、先に取付金具に付属されている固定ねじを、本機側の金具に取り付けておくと作業しやすくなります。

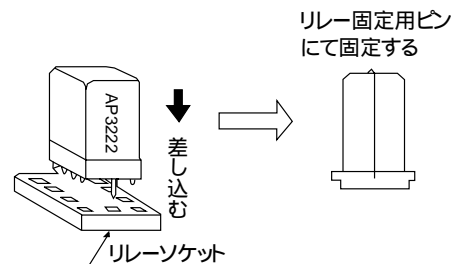
音声調整卓への接続のしかた

リレーボックスの収納について

リレーボックスは音声調整卓の袖内に収納してください。

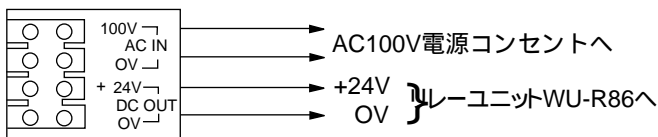
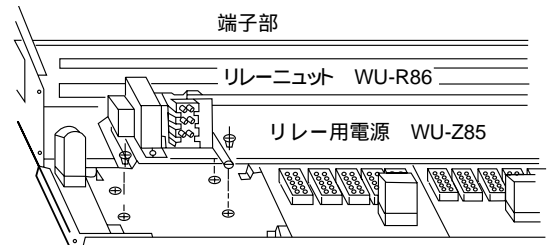
回線リレーの追加

- リレーボックスには、一斉制御リレーのみ組み込まれています。したがって、制御するスピーカー系統の数だけリレーを組込む必要があります。リレーは松下電工（株）製AP3222KまたはAP322244Kをお使いください。
- リレーは基板に設けてあるリレーソケットに右図のように取付けてください。



リレー用電源装置について

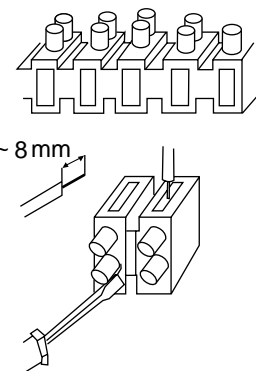
- 音声調整卓用リレーユニットWU-R86を2台以上使用する場合には、WU-R86 2台につきリレー用電源装置WU-Z85が1台必要です。
- 電源装置の取付け方法
WU-R86の後部側面上部のねじ（左右各1）をはずし、下部のねじ（左右各1）をゆるめると背面パネルが開きます。右図のようにWU-Z85を付属のねじ4本で取付けてください。
- WU-Z85の接続のしかた



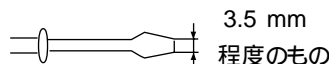
端子盤への接続のしかた

遠隔操作器及びリレーボックスは、右図のような端子盤を使用しています。端子盤に線材を接続するときは、次のように行ってください。

- ① 電線の被覆を取り芯線を5～8mm程露出させてください。
- ② 次に端子のねじを⊖ドライバーでゆるめ、線材を端子上部の穴に差し込み、再びねじをしめつけてください。
- ③ ねじでしめつけたあと、線を引きいてみて、抜けないことを確認してください。



(重要) ⊖ドライバーは先の小さいものをご使用ください。



重要

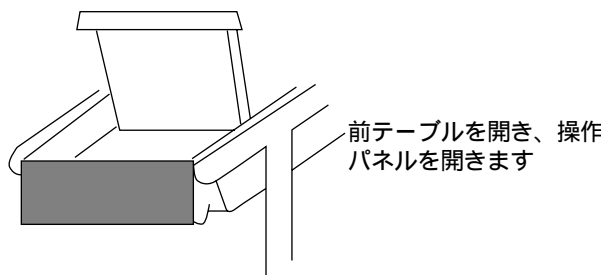
- 音声調整卓用リレーユニットWU-R86を使用した場合、チャイム放送中はリモコンマイクの放送を行なわないでください。
- チャイム放送中にリモコンマイクの放送スイッチのみを押すとチャイム放送は中断します。
(リレーユニットWU-R86の優先リレーが動作して、音声調整卓側からの一斉制御ができなくなるためです)
- リモコンマイクの放送スイッチ、選局スイッチを押すと、リモコンで選局された所にチャイム音とリモコンの音声がミキシングして放送されます。
- リモコンマイクの選局スイッチのみを押した時は、チャイム音はそのまま流れ続けます。

ここでは、音声調整卓（WL-610/615, 720/725, 850/855）に、本機を接続する方法について説明します。

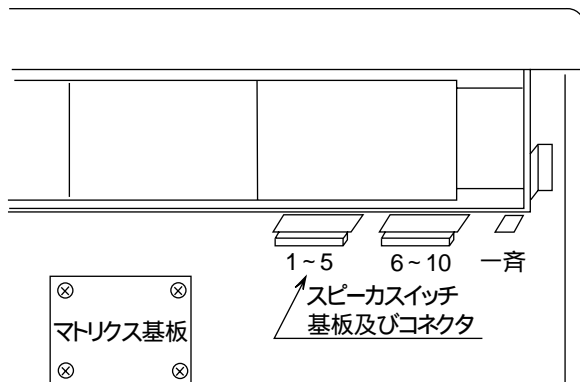
系統別リモコン放送するための準備（VUメータを振れるようにするため）

- 音声調整卓を系統別＋一斉のリモコン放送する場合にはマトリクス基板とスピーカスイッチ基板の加工が必要です。
- なおマトリクス基板および加工方法は、調整卓の製造年により異なります。工事の際は、必ず基板ナンバーをご確認ください。

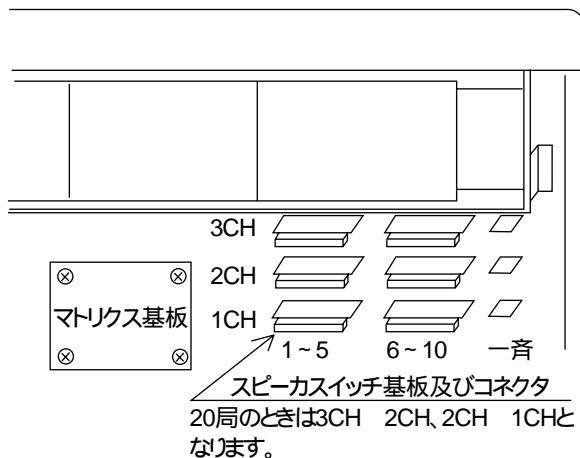
基板の取付け位置



WL-610,615 10局

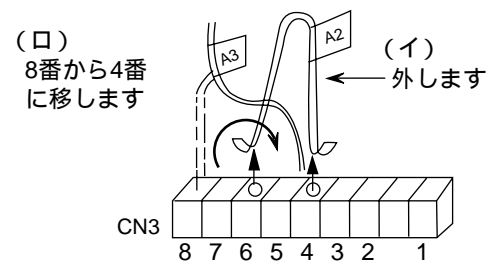


WL-610,615 30局

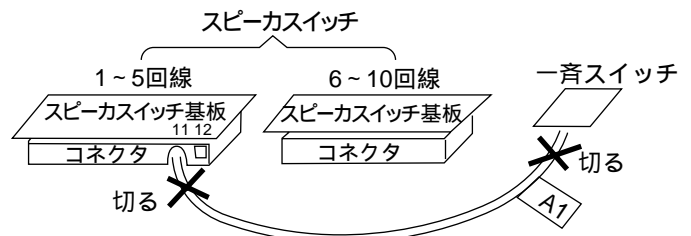


WL-610/615に接続する場合

- マトリクス基板 YWL611-ZR07FまたはZR07Gを加工する
- ① マトリクス基板のCN3コネクタの4番ピン、6番ピン間のジャンパー線 **A2** を取りはずしてください。
 - ② CN3コネクタの8番ピンに接続されている線 **A3** を8番ピンから4番ピンへ移してください。

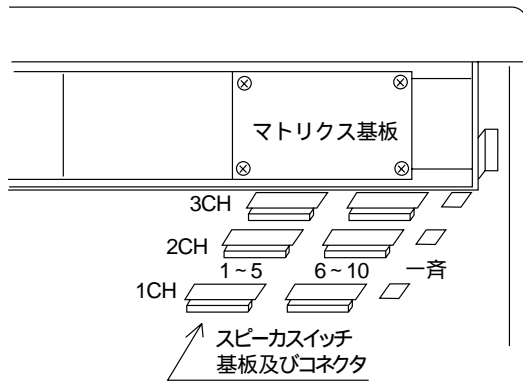


- スピーカスイッチ基板（YWL611-ZR09E）用コネクタを加工する



- スピーカスイッチ基板の1~5回線に接続されているコネクタの11番ピンと一斉スイッチ基板を接続している線 **A1** を図のように切断してください。

WL-720/725,850/855に接続する場合

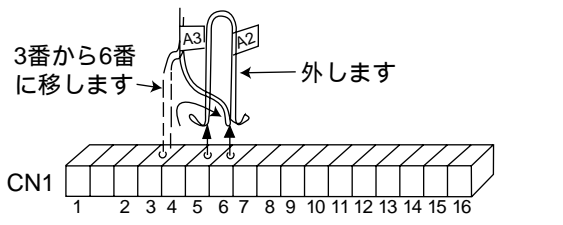


WL-720/725もWL-850/855も上図と同じ基板を使用しています。

● マトリクス基板 YWL851-ZR02FまたはZR02Gを加工する

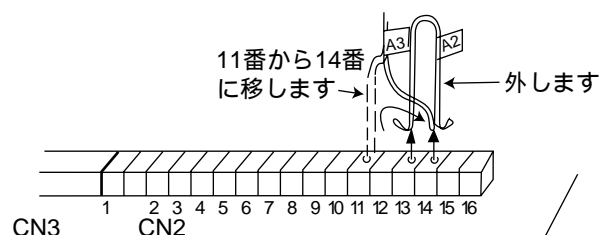
① 1chをリモコンから放送する場合

- マトリクス基板のCN1コネクタの5番ピン、6番ピン間のジャンパー線 **A2** を取りはずしてください。
- CN1コネクタの3番ピンに接続されている線 **A3** を3番ピンから6番ピンに移してください。



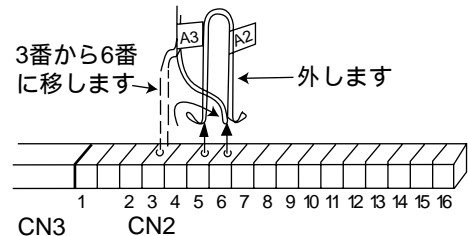
② 2chをリモコンから放送する場合

- マトリクス基板のCN2コネクタの13番ピン、14番ピン間のジャンパー線 **A2** を取りはずしてください。
- CN2コネクタの11番ピンに接続されている線 **A3** を11番ピンから14番ピンに移してください。



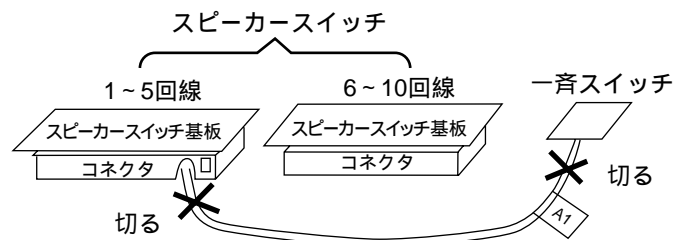
③ 3chをリモコンから放送する場合

- マトリクス基板のCN2コネクタの5番ピン、6番ピン間のジャンパー線 **A2** を取りはずしてください。
- CN2コネクタの3番ピンに接続されている線 **A3** を3番ピンから6番ピンに移してください。



● スピーカースイッチ基板 (YWL611-ZR09E) を加工する

本機から放送するチャンネルに対応するスピーカースイッチ基板 (1~5回線) に、接続されているコネクタ (11番ピン) と一斉スイッチ基板を接続している線 **A1** を切断してください。



WL-610/615,720/725,または850/855に接続する

(各チャンネル10系統+一斉をリモコン放送する場合)

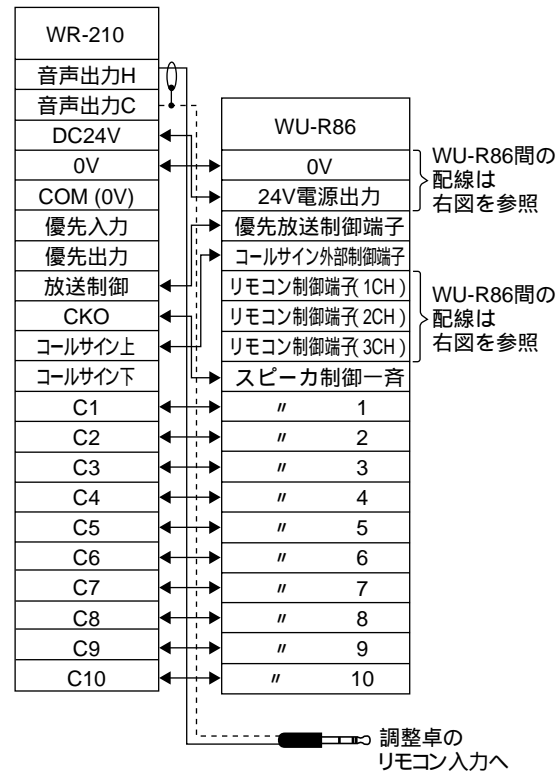
ご注意

- 各チャンネルごとにWR-210とWU-R86が1台ずつが必要です。
- WU-R86には、リレーが10個(10回線分 別売品)が必要です。
- WU-R86を2台以上使用する場合、WU-R86が2台につき、リレー用電源装置WU-Z85(別売品)が1台必要です。

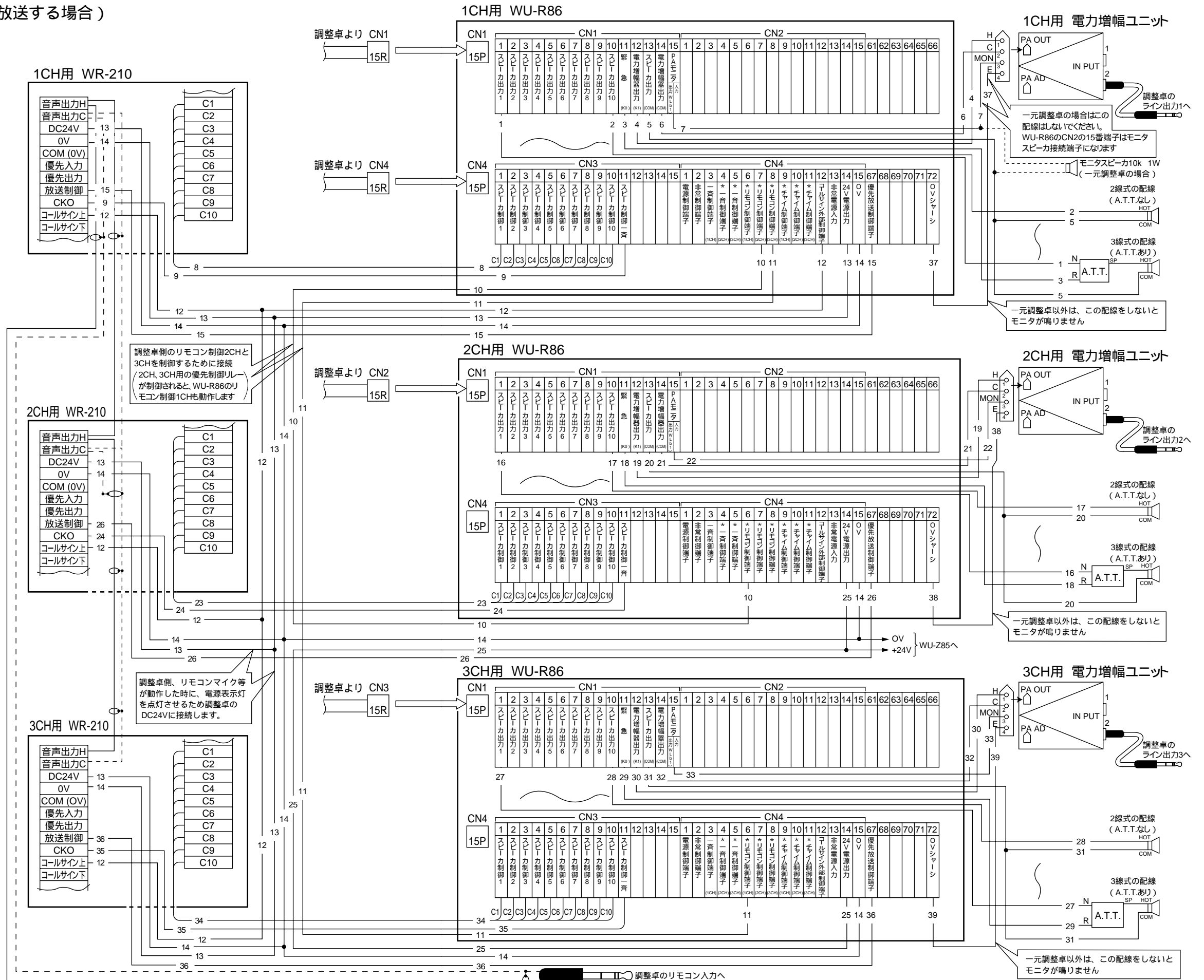
- スピーカー配線はWU-R86に接続してください。(スピーカー端子盤WU-Q48は使用しません)
- 調整卓の改造が必要です。(12ページ参照) VUメータを振れるようにするため。
- 調整卓からの直出しの15Pケーブルは、それぞれ下記のように差し込みます。

調整卓の15Pケーブル	WU-R86の15Pコネクタ
CN1	1CH用WU-R86のCN1
CN2	2CH用WU-R86のCN1
CN3	3CH用WU-R86のCN1
CN4	1CH用WU-R86のCN4

- WR-210とWU-R86の接続は下記ようになります。



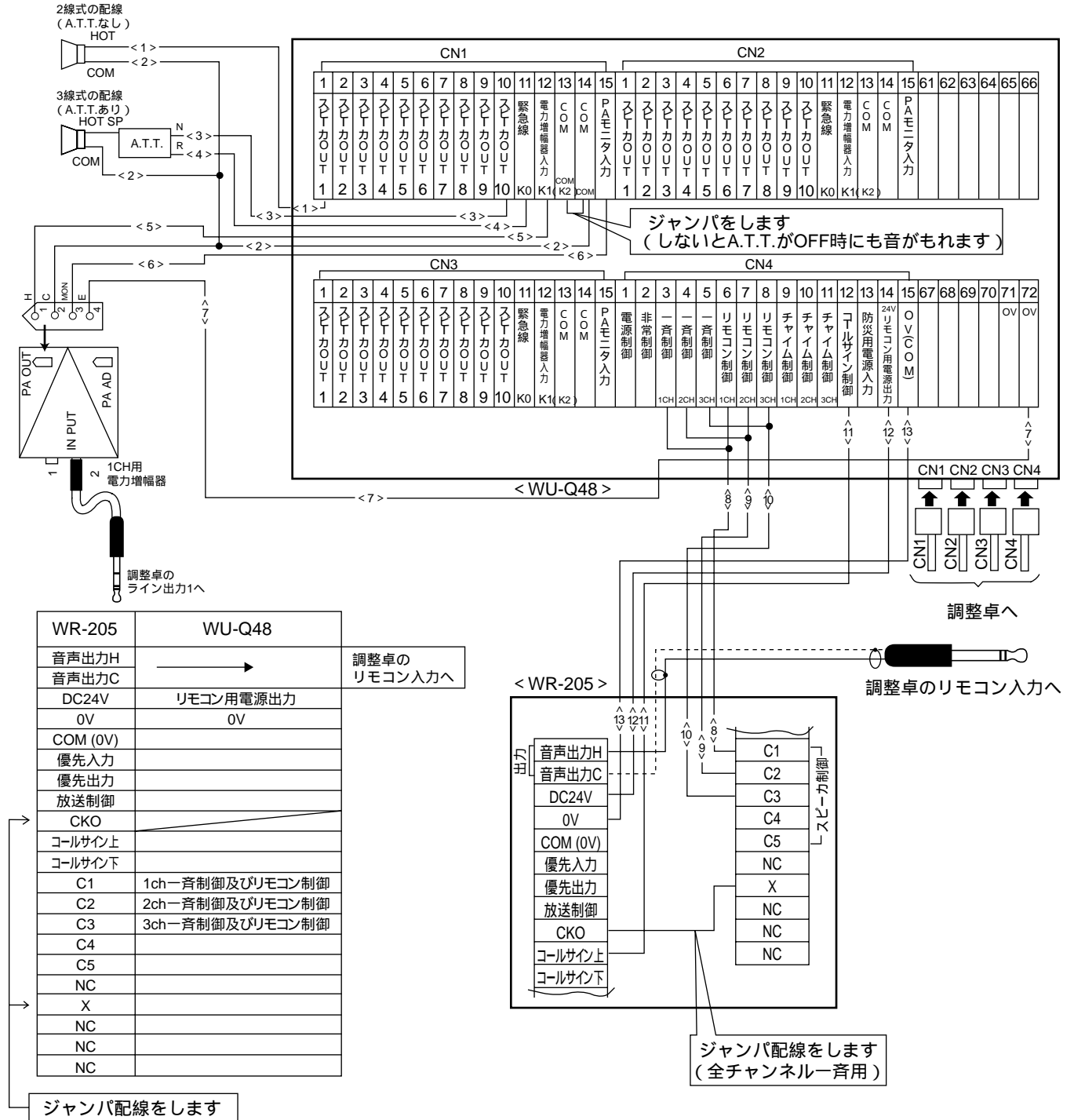
- 配線については「配線距離と線経」9ページをご覧ください。
- 右図はWL-850/855の接続です。
- WL-720/725の場合は3CH部分の接続が不用です。
- WL-610/615の場合は2CH、3CH部分の接続が不用です。



WL-720/725,またはWL-850/855に接続する

(チャンネル別一斉と全チャンネル一斉にリモコン放送する場合)

- リモコンマイクはWR-205を使用してください。
- スピーカ調整卓のスピーカ端子盤WU-Q48のスピーカOUTに接続してください。
- 調整卓からの直出しの15Pケーブルは、WU-Q48のCN1～CN4のコネクターに差し込みます。
- WR-205とWU-Q48の接続は下記のようになります。



- 配線は「配線距離と線径」9ページをご覧ください。
- 図はWL-850/855の接続です。
- WU-Q48のCN2(2CH)、CN3(3CH)のスピーカ及び電力増幅ユニットの配線もCN1(1CH)と同様に配線します。
- WL-720/725の場合は3CH部分の接続が不用です。

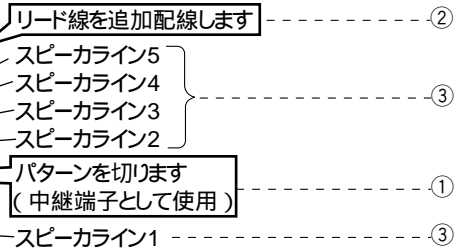
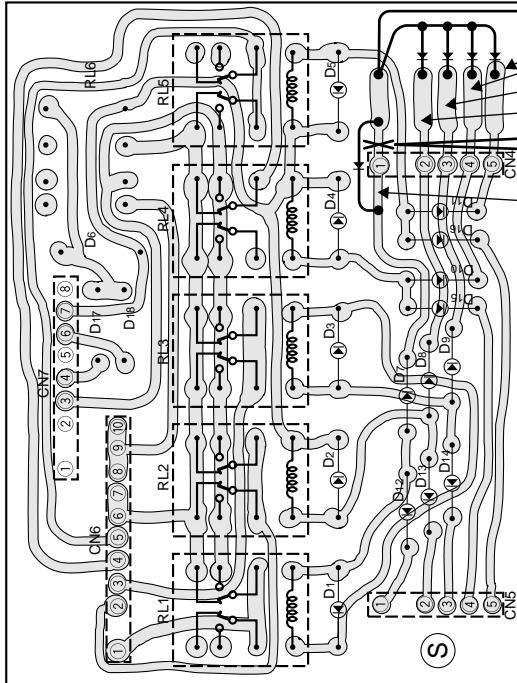
WL-720/725 または WL-850/855 に接続する

(リモコンマイク1台で系統別に放送する場合)

呼び出し放送以外のチャンネルの調整卓からの放送を切らないようにするためにWU-R86を加工します。

WU-R86には下図のように基板が配置されています。(下図はパターン面より見た図です)

YWUR85-ZR01 (スピーカ1~5用リレー基板)



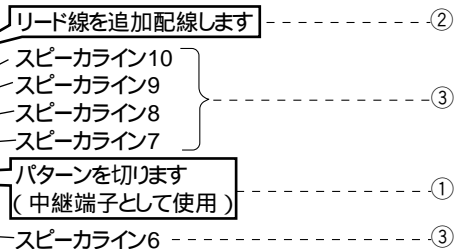
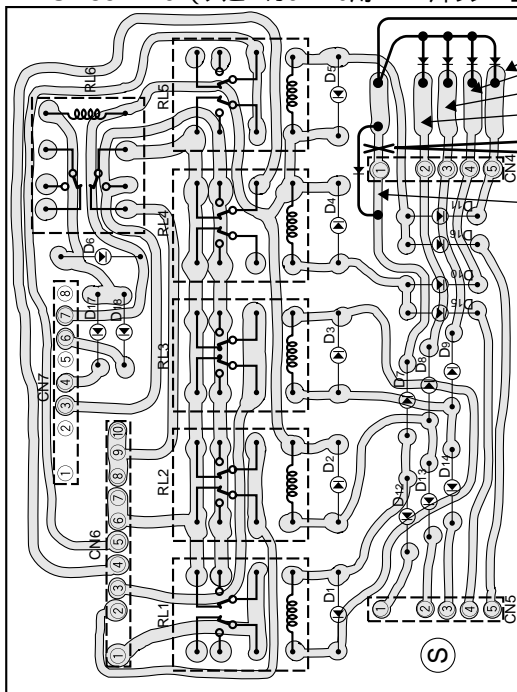
〔改造内容〕

- ①YWUR85-ZR01基板2枚のスピーカライン1と6のパターンを×印の箇所でカットします。
- ②カットしたパターンとYWUR85-ZR02Aの間を左図のようにリード線で追加配線します。(優先制御リレーを動作させるため)
(YWUR85-ZR01基板2枚共行ないます。)
- ③リモコンから放送するスピーカラインの数だけ、YWUR85-ZR01基板2枚のスピーカラインにダイオードを追加します。
- ④上記の改造は、1CH用、2CH用、3CH用WU-R86ごとに行ってください。

ダイオード(別売品):YWMA01Z(サービス部品扱い)

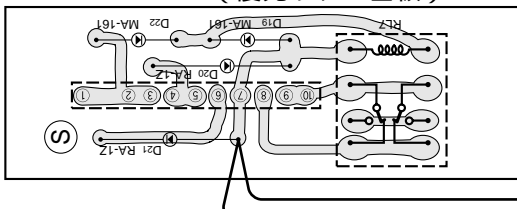
注: 1) RL1~RL5はリレーソケットのみ装着しています。
2) D6,D17,D18およびRL6は実装されていません。

YWUR85-ZR01(スピーカ6~10用+斉リレー基板)



注: 1) RL1~RL5はリレーソケットのみ装着しています。

YWUR85-ZR02A (優先リレー基板)



(接続は次ページにあります。)

WL-720/725またはWL-850/855に接続する

(リモコンマイク1台で系統別に放送する場合)

ご注意

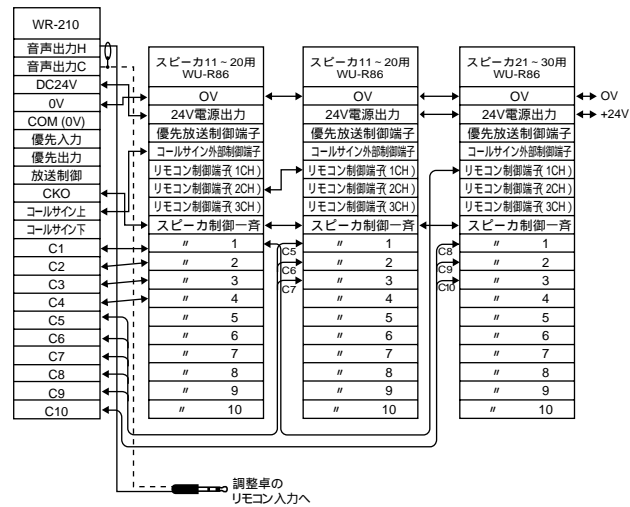
- 各チャンネルごとにWU-R86が1台ずつ必要です。
- WU-R86には、リレーが10個10回線分(別売品)が必要です。
- WU-R86を2台以上使用する場合は、WU-R86が2台につき、リレー用電源装置WU-Z85(別売品)が1台必要です。

- スピーカ配線はWU-R86に接続してください。(スピーカ端子盤WU-Q48は使用しません)
- 調整卓の改造が必要です。(12ページ参照) VUメータを振れるようにするため。
- WU-R86の改造が必要です。(17ページ参照) 呼び出し以外の他のチャンネルの放送を切らないようにするため。(チャンネル別に優先放送制御を制御するための改造)
- 調整卓からの直出しの15Pケーブルは、それぞれ下記のように差し込みます。

調整卓の15Pケーブル	WU-R86の15Pコネクタ
CN1	1CH用WU-R86のCN1
CN2	2CH用WU-R86のCN1
CN3	3CH用WU-R86のCN1
CN4	1CH用WU-R86のCN4

- WR-210と各WU-R86の接続は下記ようになります。

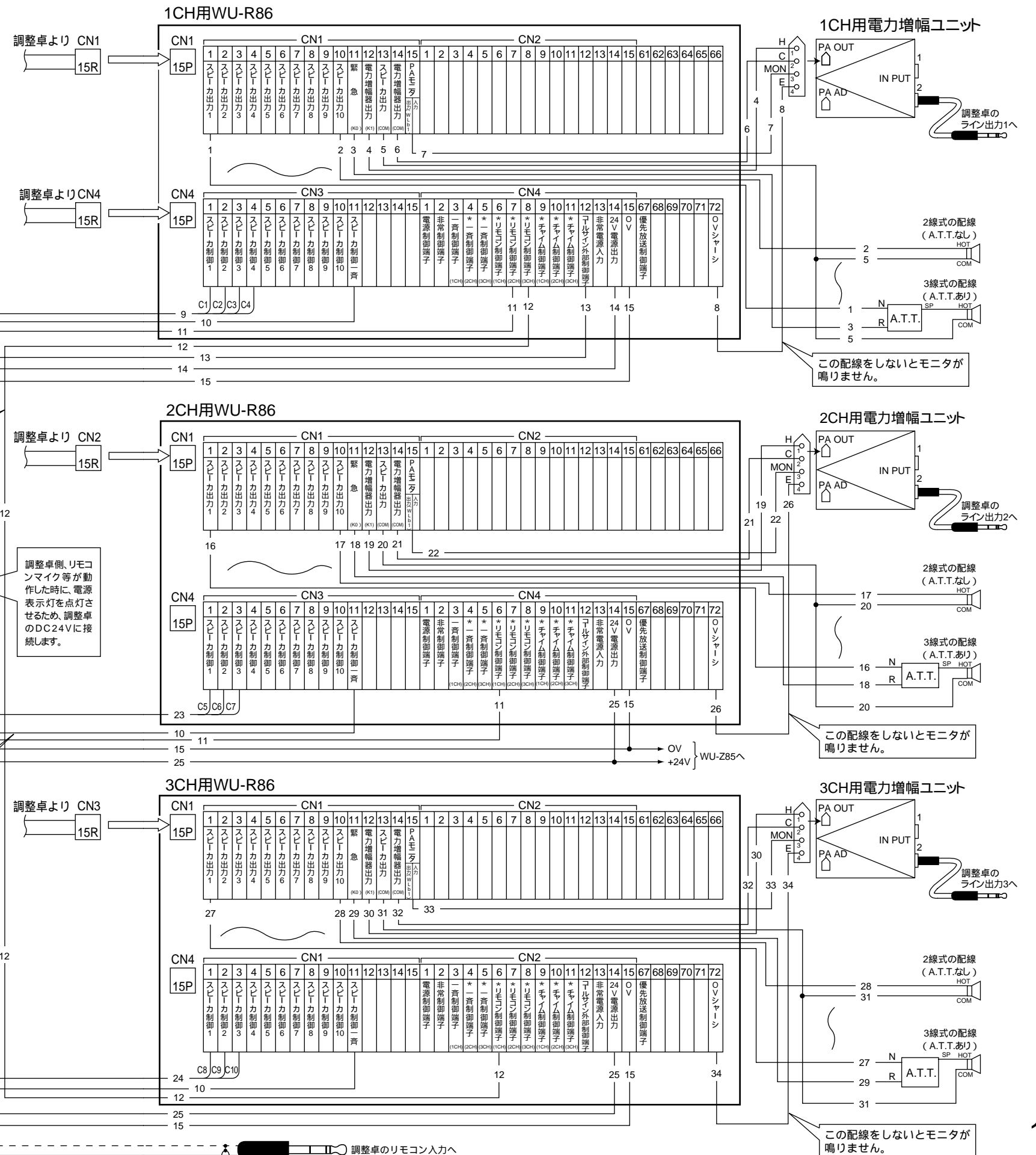
下図はWL-855の1CH スピーカ1~4、2CH スピーカ1~3、3CH スピーカ1~3の系統別制御と全チャンネル一斉リモコン放送する場合の例です。



WU-R86のスピーカ制御1~10を複数接続するとまとめ放送も可能です。

- 配線については「配線距離と線経」9ページをご覧ください。
- 右図はWL-850/855の接続です。
- WL-720/725の場合は3CH部分の接続が不用です。

放送制御 優先放送間を接続すると、呼び出し以外のチャンネルの調整卓からの放送も切れてしまうため接続せずに、21ページのWU-R86の改造を行います。
(呼び出したチャンネルの調整卓側のK1のみ切るようにするため。)



この配線をしないとモニタが鳴りません。

この配線をしないとモニタが鳴りません。

この配線をしないとモニタが鳴りません。

WL-610/615 (30局) に接続する (リモコンマイク1台で系統別に放送する場合)

ご注意

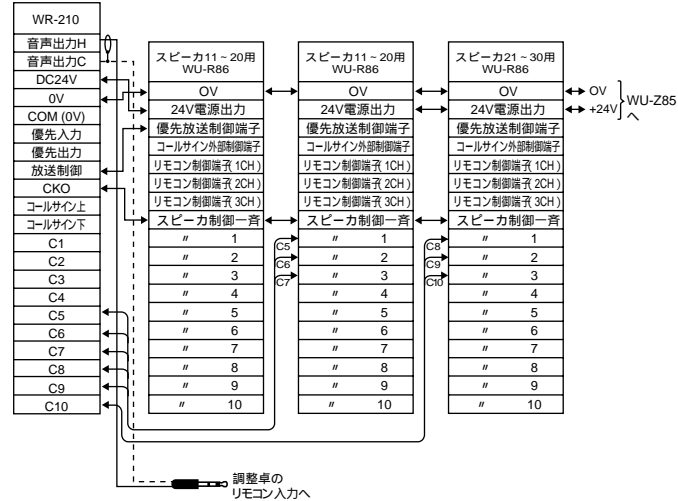
- 10回線ごとにWU-R86が1台ずつ必要です。
- WU-R86には、リレーが10個10回線分(別売品)が必要です。
- WU-R86を2台以上使用する場合は、WU-R86が2台につき、リレー用電源装置WU-Z85(別売品)が1台必要です。

- スピーカ配線はWU-R86に接続してください。(スピーカ端子盤WU-Q48は使用しません)
- 調整卓の改造が必要です。(12ページ参照)
VUメータを振れるようにするため。
- 調整卓からの直出しの15Pケーブルは、それぞれ下記のように差し込みます。

調整卓の15Pケーブル	WU-R86の15Pコネクタ
CN1	スピーカ1～10用WU-R86のCN1
CN2	スピーカ11～20用WU-R86のCN1
CN3	スピーカ21～30用WU-R86のCN1
CN4	スピーカ1～10用WU-R86のCN4

- WR-210と各WU-R86の接続は下記ようになります。

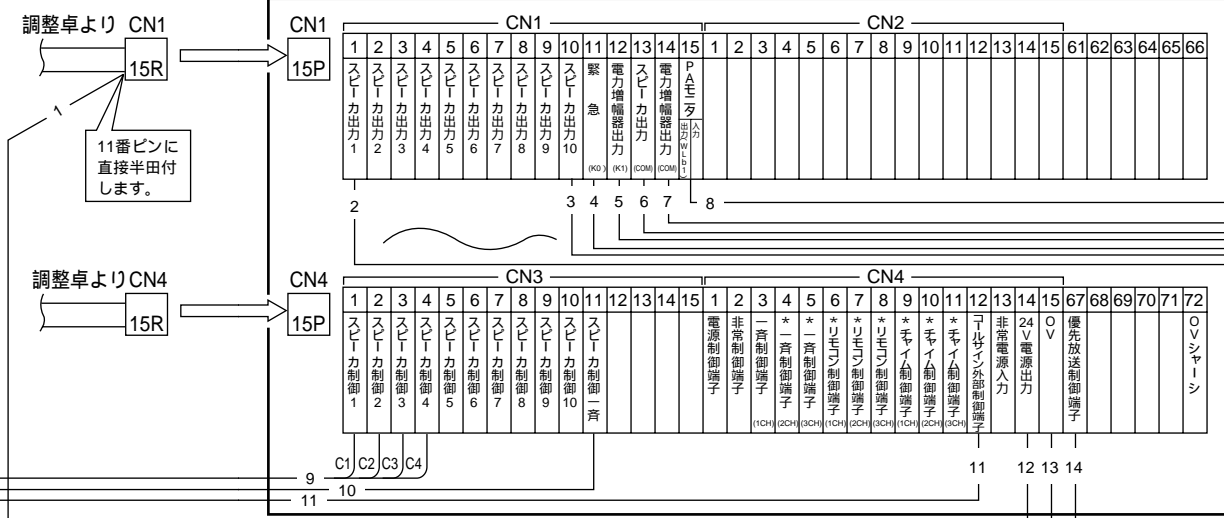
〔下図はWL-615/30局のスピーカ1～4、11～13及び21～23の系統別制御と全チャンネル一斉放送をする場合の例です。〕



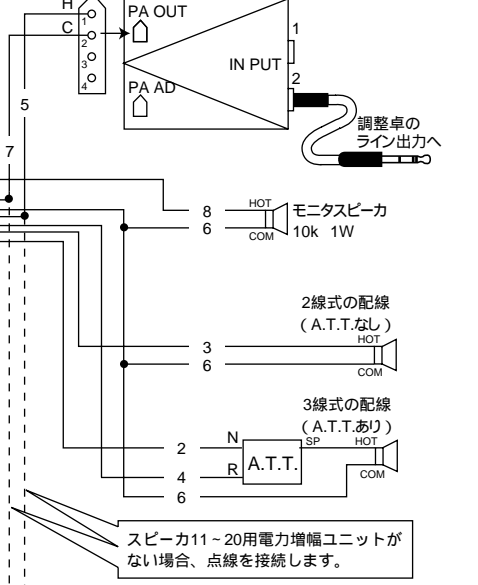
WU-R86のスピーカ制御1～10を複数接続するとまとめ放送も可能です。

- 配線については「配線距離と線経」9ページをご覧ください。

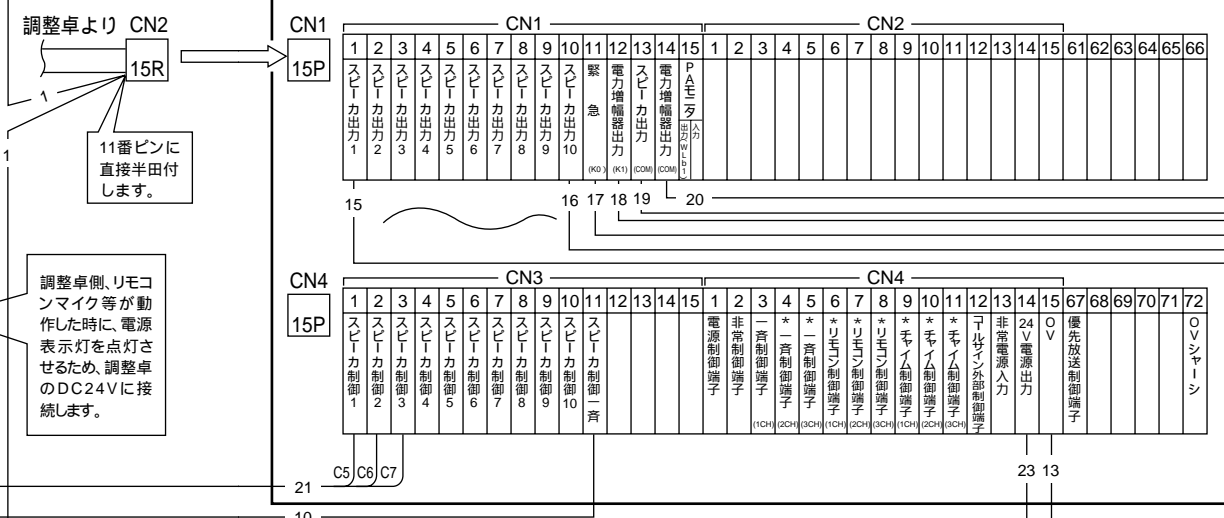
スピーカ1～10用WU-R86



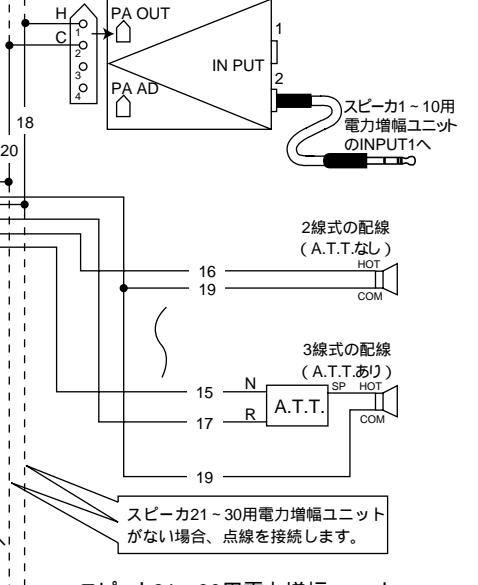
スピーカ1～10用電力増幅ユニット



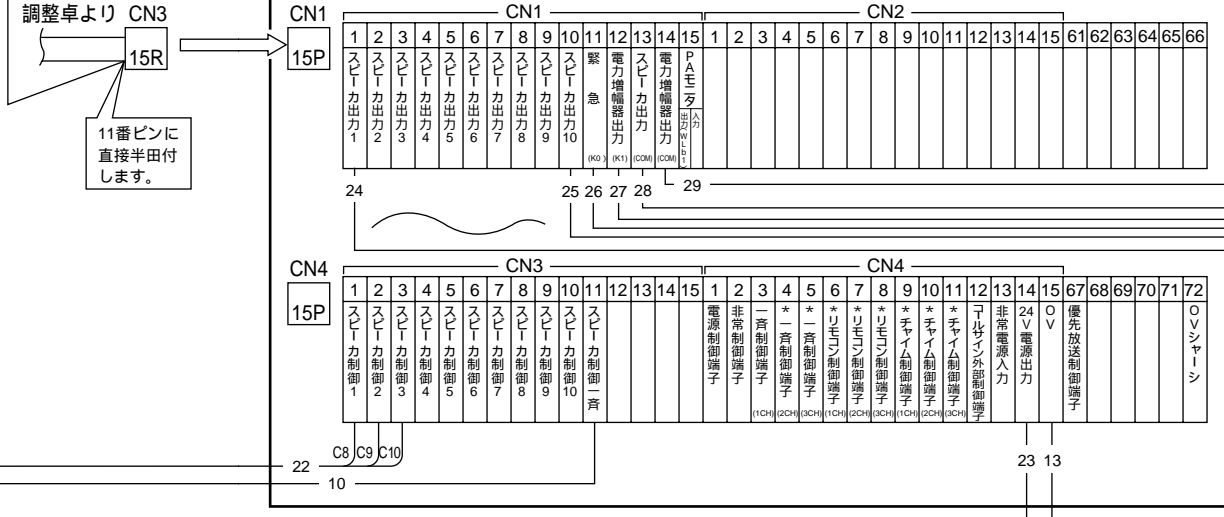
スピーカ11～20用WU-R86



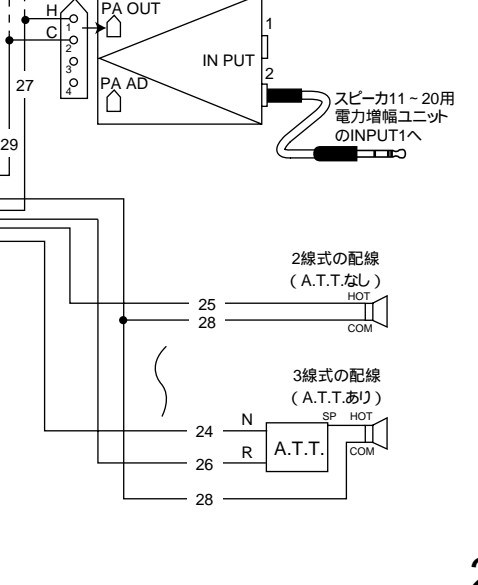
スピーカ11～20用電力増幅ユニット



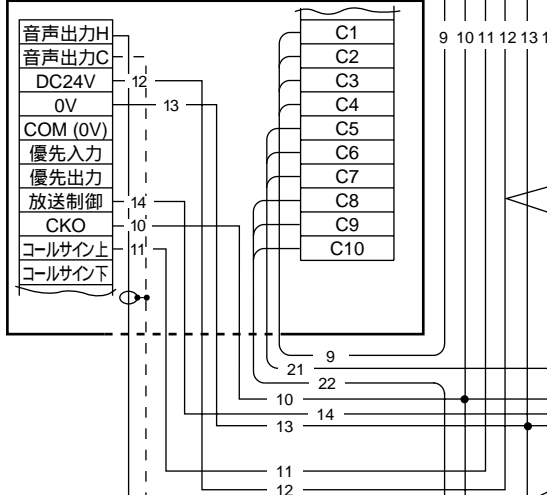
スピーカ21～30用WU-R86



スピーカ21～30用電力増幅ユニット



WR-210



調整卓側からの一斉放送時に、スピーカ11～20、21～30用のWU-R86の一斉リレーを動作させるため、15PケーブルCN1～CN3の11番ピンを配線します。

調整卓より CN2
15R
11番ピンに直接半田付します。

調整卓側、リモコンマイク等が動作した時に、電源表示灯を点灯させるため、調整卓のDC24Vに接続します。

調整卓より CN3
15R
11番ピンに直接半田付します。

リモコンマイクからの一斉放送時に11～20、21～30用のWU-R86の一斉リレーを動作させるために接続します。

はじめに

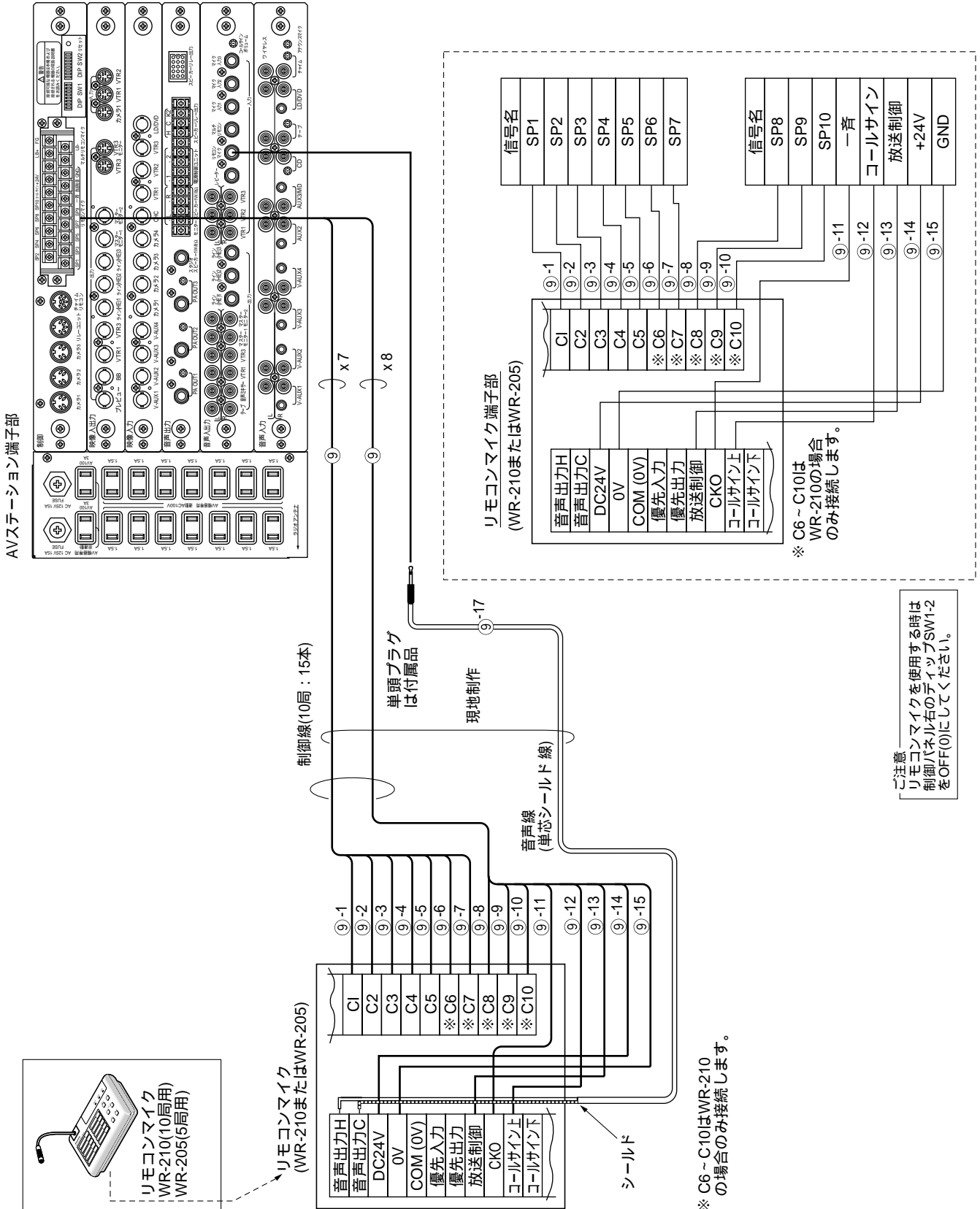
操作のしかた

工事説明

仕様

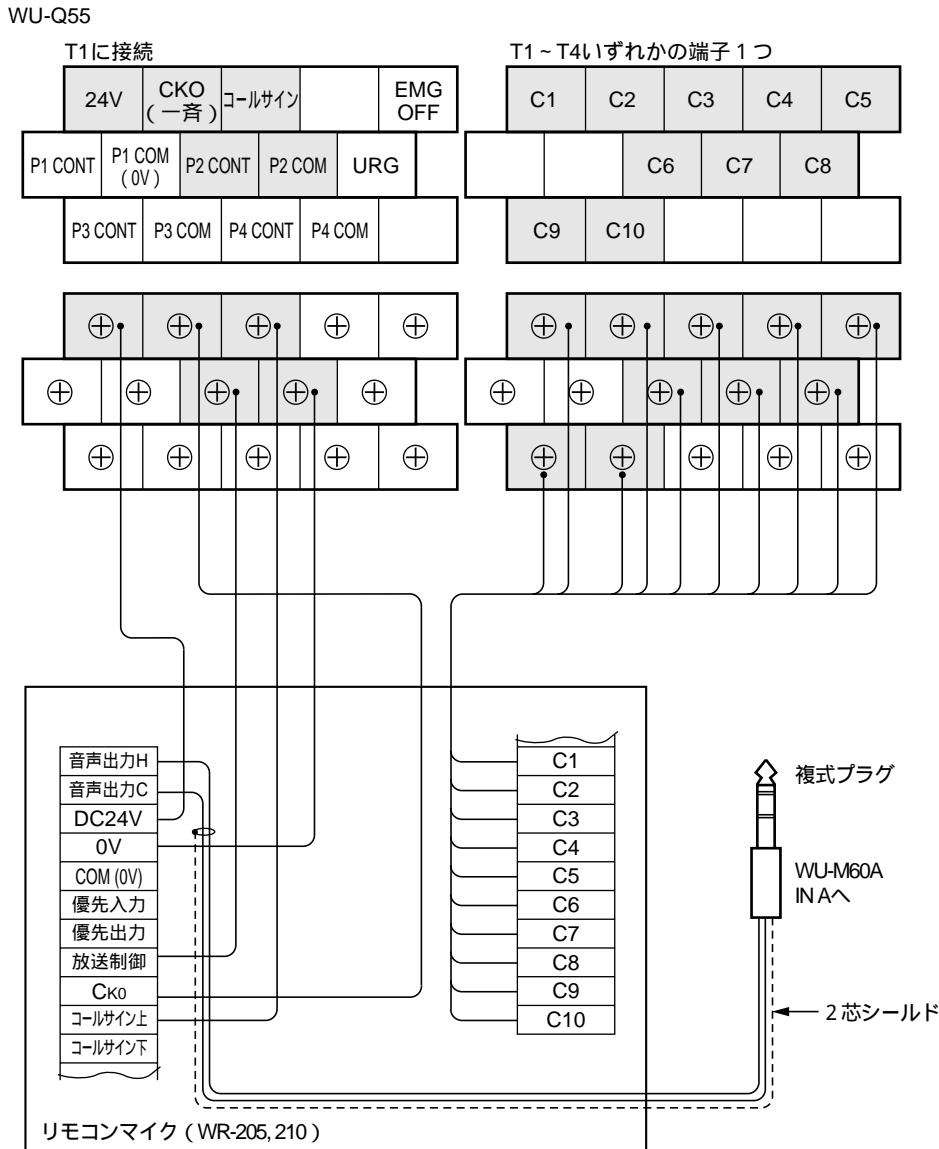
AVステーションへの接続のしかた

ここでは、AVステーション（WL-AV200A、WL-AV190）に、本機を接続する方法について説明します。



ラック形音響装置への接続のしかた

ここでは、ラック形音響装置（WL-7100、WL-7600）に、本機を接続する方法について説明します。



優先順位	第2位	第3位	第4位
放送制御	P2 CONT	P3 CONT	P4 CONT
0V COM	P2 COM	P3 COM	P4 COM

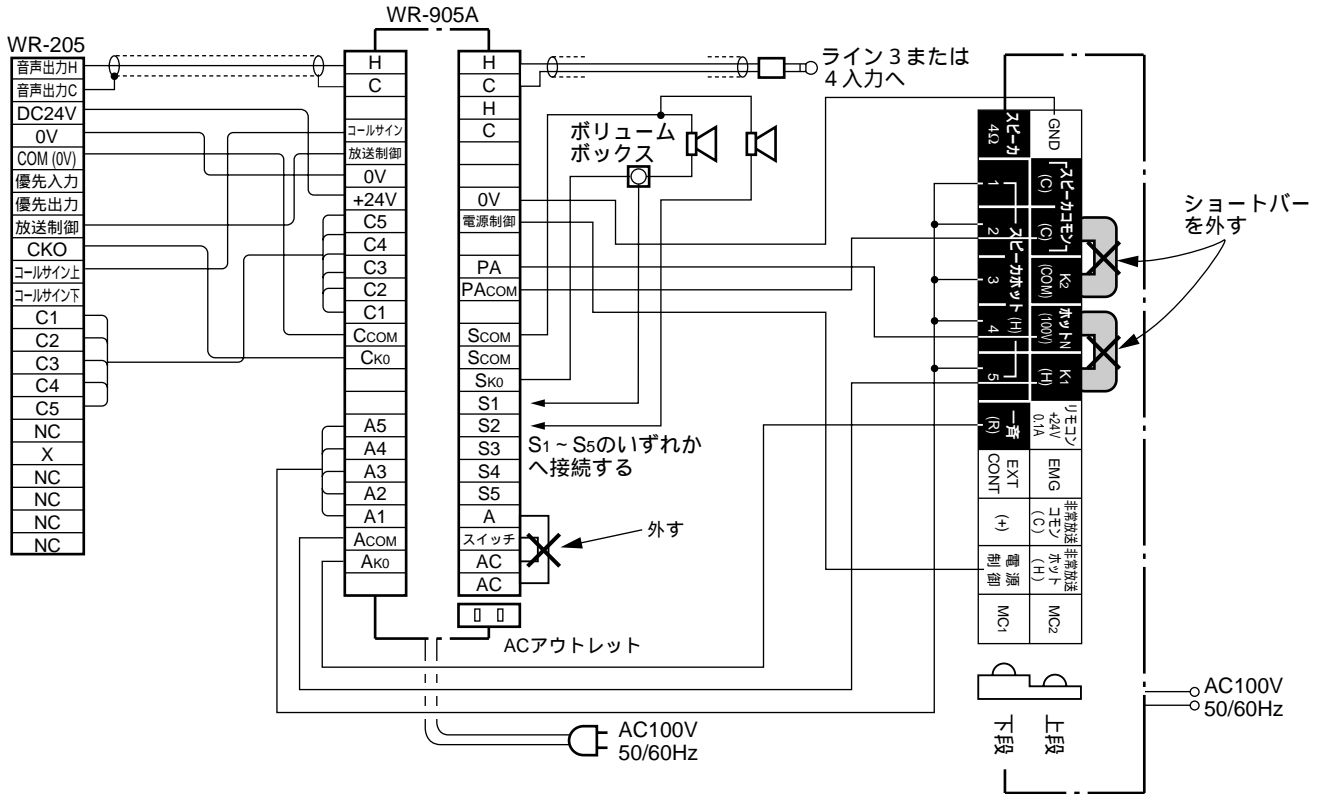
本機は、優先順位第1位にして、使用することができません。

重要

- リモコンマイクの音声出力はミキサーユニットWU-M60Aの音声入力に接続しますが、優先順位により入力異なります。
- リモコンマイクの電源表示は、使用可能時点灯し、他で使用中の時は消灯します。
- リモコンマイク間の個別優先の制御はできません。ラックアンプ側の優先順位で放送してください。
- コールサインは、リモコンマイクのコールサインスイッチでのみ放送できます。
(ミキサーユニットにコールサインユニット(WU-Z05)を接続してください。)

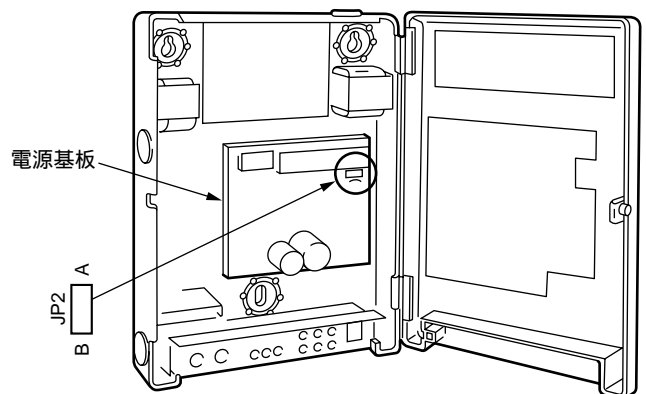
壁掛形アンプシステムへの接続のしかた

ここでは、壁掛形アンプシステム（WA-880、885）に、本機を接続する方法について説明します。
壁掛形アンプシステムに、リモコンマイクWR-205とリレーボックスWR-905Aを組み合わせると、壁掛形アンプシステムの電源、および5系統放送を制御することができます。



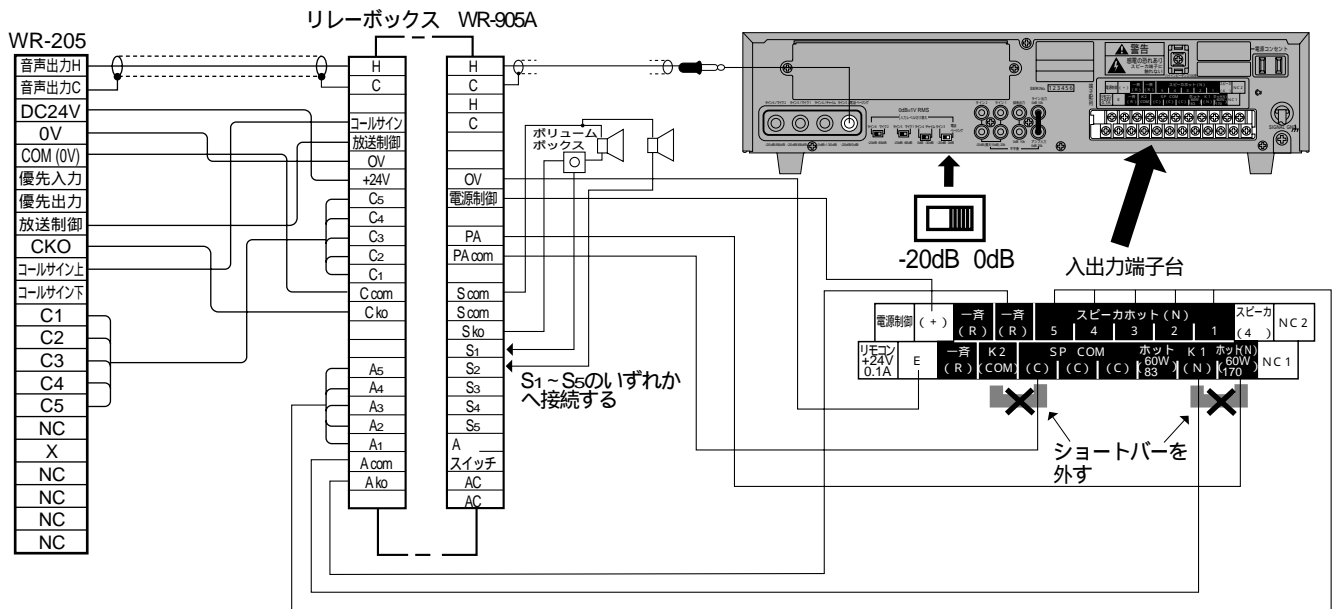
重要

- WR-905Aを接続する場合は、壁掛けアンプの電源基板のJP2を“B”側から“A”側に差し換えます。
- リモコンマイクWR-205側からスピーカ選局時は、アンプ本体の選局表示が点灯しません。
- スピーカ接続端子台のK₂ (COM) とスピーカコモン (C) 間および、K₁ (N) とホットN (100V) 間のショートバーを外します。
- リモコンマイクから制御がかかっているときは、アンプ本体からスピーカの選択はできません。
- WR-905Aには、系統分のリレー（AP322244K：松下電工製）が必要です。



ハイパワーアンプへの接続のしかた

ここでは、ハイパワーアンプ (WA-H30、H60、H120) に、本機を接続する方法について説明します。
リモコンマイクWR-205を接続することにより、ハイパワーアンプ (本機) の電源と5系統放送の制御ができます。



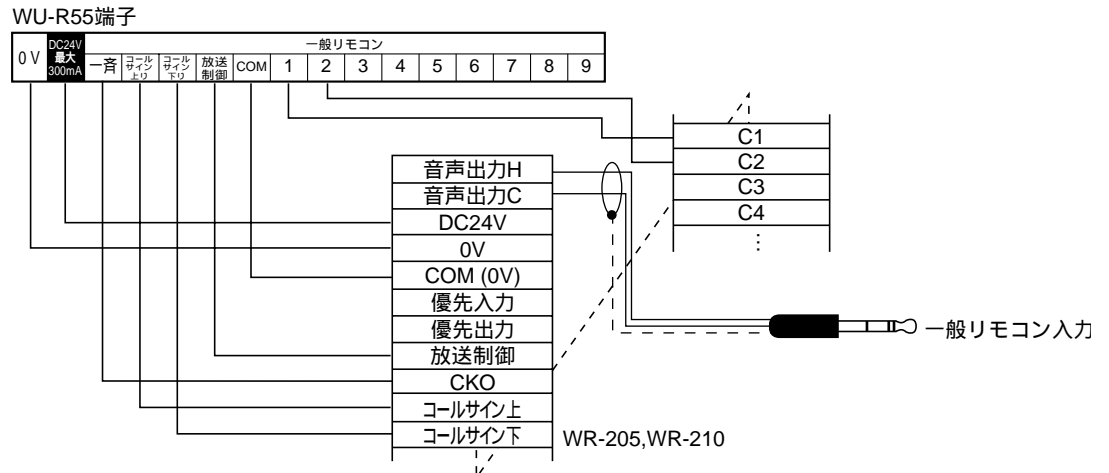
メモ

- WR-905Aに、系統分のリレーを追加する必要があります。
- リモコンマイクからの音声を優先放送にするときは、ライン4/チャイム入力端子に接続するか、ライン3/電話ページング入力端子を加工する必要があります。
- リモコンマイクから制御がかかっているときは、ハイパワーアンプからスピーカーの選択はできません。

非常用放送設備、業務放送システムへの接続のしかた

ここでは、非常用放送設備または業務放送システムに、本機を接続する方法について説明します。

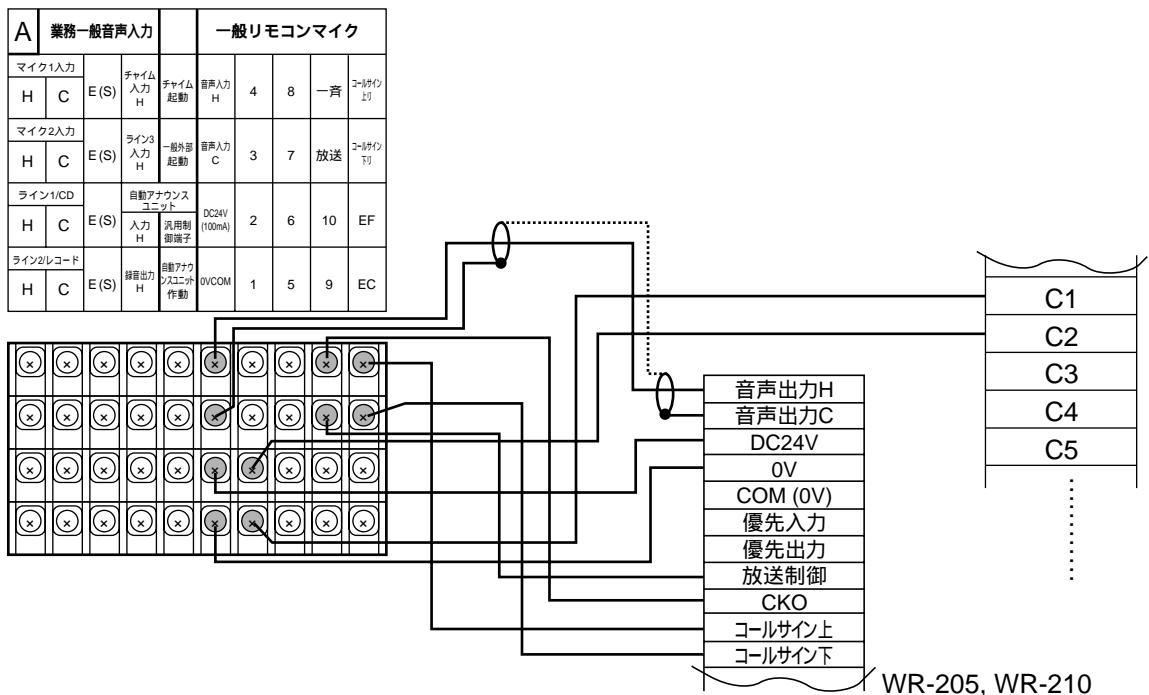
WL-7550A、7050A、WL-K500に接続する



メモ

- リモコンマイクの通電表示は、放送状態でのみ点灯します。
- WR-205またはWR-210からDC24Vを出力する場合は、放送制御と0Vをメイクすると共に個別スイッチを押してください。

WK-770B、775B、780Bに接続する



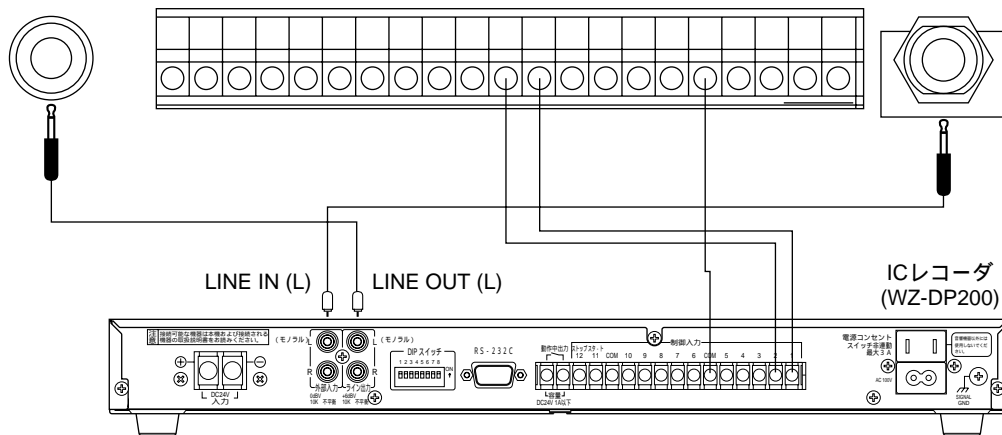
デジタルICレコーダーに接続する

本機をデジタルICレコーダーに接続すれば、つぎの内容を操作することができます。

- 本機のコールサインスイッチを押して、ICレコーダーに録音されているオリジナルのコールサインを放送することができます。
- 事前に、本機のマイクから放送する内容をICレコーダーに録音することができます。録音した内容は、ICレコーダーを起動して放送することができます。録音・再生のしかたはデジタルICレコーダーの取扱説明書をお読みください。

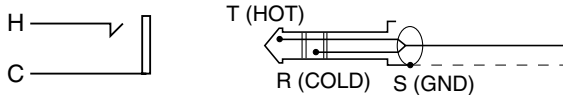
本機端子台

ライン入力 -2dBV 10kΩ C コールサイン 放送 優先 COM DC 音声出力 録音出力 0dBV
 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 下 上 CKO 制御 出力 入力 (0V) 0V 24V C H



- ライン入力、録音出力への接続のしかた
 - 単頭プラグを使用して接続してください。
 - 複式プラグを使用する場合は、下図のように接続してください。

リモコンマイク側



優先順位の設定

本機を複数台接続した場合、優先順位を設定し優先順位が高い機器から放送しているとき、他の機器から放送できないよう設定できます。

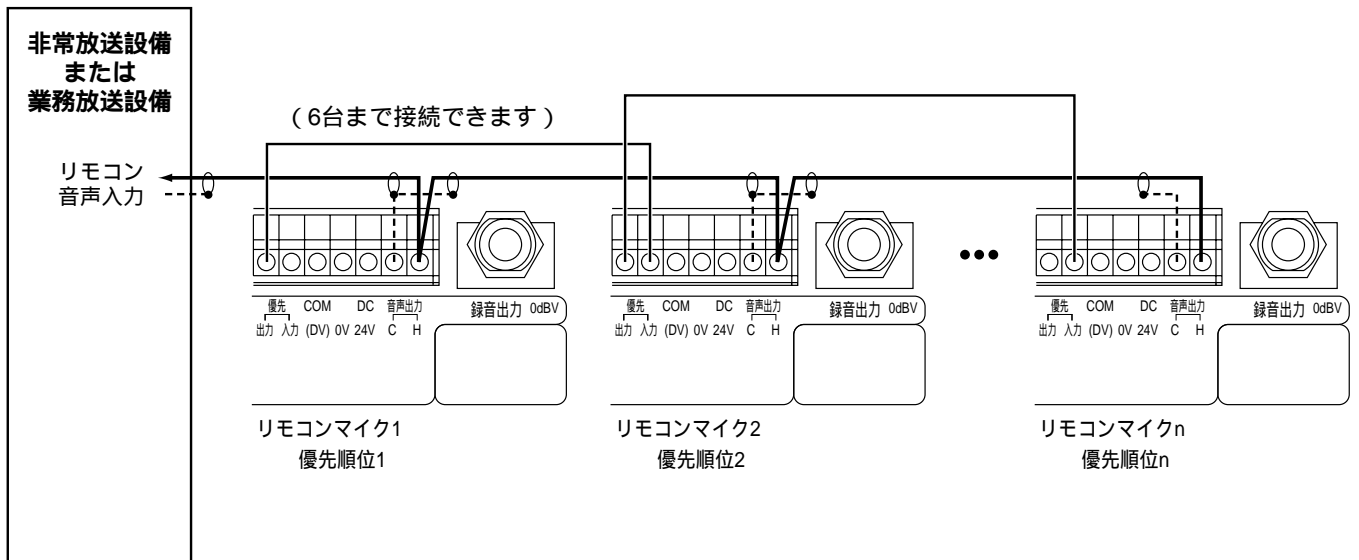
個別優先 : リモコンマイクごとに優先順位を設定します。放送中のリモコンマイクよりも優先順位が高いリモコンマイクが放送を開始すると、優先順位の低いリモコンマイクからは放送できません。

個別優先

リモコンマイクに優先順位を設け、優先順位の高いリモコンマイクが放送している間、優先順位の低いリモコンマイクからは放送できません。

● 接続設定の仕方

優先順位の高いリモコンマイクの優先出力から優先順位の低いリモコンマイクの優先入力に接続します。



優先順位設定をしない場合

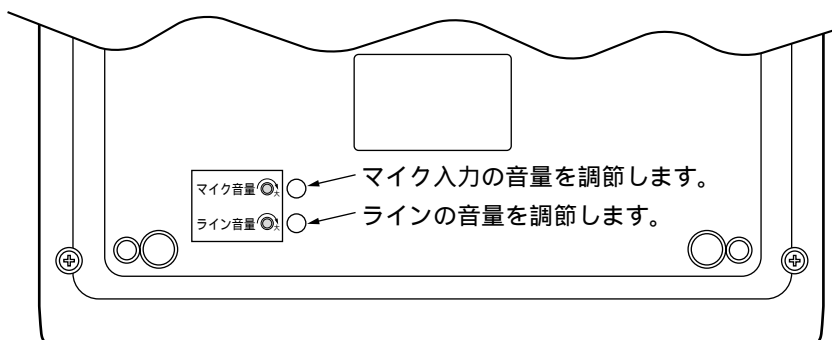
- 優先入力および優先出力は、接続しません。
- 音声出力線は、パラレル接続をしません。
- ラック音響装置 (WL-7100、7600) に接続する場合は、この設定にしてください。

重 要

- 本機をラック形非常放送設備または業務用放送設備 (システムコントローラー (WL-K500)) に接続して使用する場合、以下に示す操作は行わないでください。本機の電源が入らず、放送できなくなる場合があります。
 - 本機で放送中に、本機の放送より優先順位の高い放送が入り本機の通電表示灯が消灯したとき、放送スイッチや一斉スイッチを「切」にする
- 放送できなくなった場合は、コールサインスイッチの上りと下りを同時に押してください。一斉放送状態になり、本機に通電されます。その後正常に動作します。
- リモコンの接続台数は、最大6台までです。接続するシステムの供給電流容量により、接続台数は変わります (6台接続する場合、270 mA以上必要です)。

音量の調節

マイクおよびライン入力の音量は、本機底面にあるボリュームで調節します（右図参照）。



故障と思われましたら

修理を依頼する前に、もう一度つぎの事項を点検してください。

症状	対策	参照ページ
通電表示灯が点灯しない 放送中表示が点灯しない	<ul style="list-style-type: none">・ DC24Vケーブルが接続されていますか・ 本体側の電源が「入」になっていますか・ 個別SW、放送SWや一斉SWを押し忘れていませんか・ 本体側で放送していませんか	5ページ、 6ページ
マイク放送ができない	<ul style="list-style-type: none">・ マイクSWが「入」になっていますか・ 個別SW、放送SWや一斉SWを押し忘れていませんか	5ページ、 6ページ
ライン入力の放送ができない	<ul style="list-style-type: none">・ ラインSWが「入」になっていますか・ 個別SW、放送SWや一斉SWを押し忘れていませんか	5ページ、 6ページ
使用中表示が点灯して、放送できない	<ul style="list-style-type: none">・ 他のリモコンマイクが放送中ではないですか、放送終了後使用できます。・ 優先入力 / 出力のケーブル接続が間違っていないか	5ページ、 28ページ

仕 様

電源	DC 24 V 45 mA以下 (スクリューレス端子台)
周波数特性	50 ~ 15 000 Hz \pm 3 dBV (1 000 Hz基準) ライン入力にて
ひずみ率	1 %以下 (1 000 Hzにて)
S/N比	50 dBV以上
音声入力	フレキシブルマイク : -55 dBV 600 Ω 不平衡 AGC付き 1回路 (音量調節 : 半固定) 業務入力 : -2 dBV 10 k Ω 不平衡 1回路 (音量調節 : 半固定) 大型単頭ジャック
音声出力	H, C, 0 dBV, 600 Ω 平衡 1回路 負荷インピーダンス 300 Ω 以上 接続端子台 録音出力 : 0 dBV 10 k Ω 不平衡 1回路 大型単頭ジャック
操作スイッチ	放送 \times 1、選局 \times 10 (WR-205の場合は5局)、一斉 \times 1、コールサイン (UP / DOWN) \times 2、 マイクスイッチ、ライン入力スイッチ \times 各1
表示	通電 放送中 使用中
制御出力	放送制御 : 1回路 接続端子台 スイッチ出力、制御容量最大DC 30 V 20 mA 系統制御 : 1 ~ 10回路 (WR-205の場合は5回路) 接続端子台 スイッチ出力、 制御容量最大DC 30 V 20 mA コールサイン制御上り・下り : 1回路 接続端子台 スイッチ出力、 制御容量最大DC 30 V 20 mA 優先制御 : 優先入力、優先出力
マイクロホン	エレクトロメックコンデンサ型 (風防付き) 感度 - 70 dBV、 出力インピーダンス 2.2 k 単一指向性
寸法	幅 250 mm 高さ 50 mm 奥行き 155 mm (突起部およびフレキシブルマイクは除く)
質量	700 g
仕上げ	上ケース : 樹脂 OAアイボリー色 (マンセル 5.5Y7.5/0.3 近似色) 下ケース : 樹脂 グレー色 (マンセル N5.5 近似色)

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読み
のあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼される時

30ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、リモコンマイクの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 い 上 げ 年 月 日	年 月 日	品番 WR-205, WR-210
販 売 店 名	☎ () -	

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224 - 8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045)932-1231(大代表)

NM1100-1011

A8QA5659BN